



# スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



カヌー男子スプリント・カヤックペア 500 m 優勝 佐々木 (左)、阿部 本荘高



フェンシング女子団体学校対抗 優勝 聖霊高



決勝でアタックを決める成田 (左)

全国高等学校総合体育大会

(写真提供：秋田魁新報社)

## contents

- ◎新役員紹介..... 2
- ◎事業計画・今後の主要行事予定 ..... 3
- ◎2020年東京オリ・パラ ..... 4
- ◎第28回日・韓・中ジュニア交流競技会秋田大会に向けて... 5
- ◎東北総体・全国高校総体等の結果 ..... 6
- ◎国体ピックアップ選手・チーム ..... 8
- ◎国体結団式・ドーピング防止講習会..... 10
- ◎中学生強化選手育成(交付式・競技力向上研修1) ..... 11
- ◎期待のジュニアアスリート VOL.4 ..... 13

- ◎日独スポーツ少年団同時交流事業  
スポーツ少年大会兼ジュニアリーダーズスクール..... 14
- ◎チャレンジデー2019あきた..... 15
- ◎総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 ..... 16
- ◎トップアスリートと企業のマッチング ..... 17
- ◎県内スポーツの主なできごと ..... 18
- ◎東京オリ・パラ候補選手支援募金ゴルフコンペの開催  
秋田ノーザンハピネッツからの寄付 ..... 19
- ◎賛助会員・寄付者 ..... 20
- ◎事務局だより ..... 22

オフィシャルパートナー

秋田ゼロックス株式会社

DOWA



## 「スポーツで秋田を元気に」



公益財団法人 秋田県体育協会  
会長 小笠原 直 樹

手元に「限りなき挑戦」と書かれた色紙がある。プロ野球広島カープの中軸打者で「鉄人」と呼ばれた故衣笠祥雄さんから頂いた。

プロ野球記録 2215 試合連続出場という偉業を達成し、国民栄誉賞にも輝いた衣笠さん。他界する 1 年半前、「日本スポーツマスターズ秋田大会」シンボルメンバーの一人として来県した。

会期中の夕食会で隣り合わせ、本県出身のプロ野球選手や秋田のスポーツの話題などで話は弾んだ。合間に「鉄人の異名を取ったタフな体力と連続出場記録達成の原動力は何か」と問い掛けたら、即座に「野球が好きで好きでたまらなかった。それと現状に甘えないチャレンジ精神」という答えが返ってきた。その数日後に届いたのが件の色紙だった。

野球に限らず、スポーツにしる何にしる、上達の基本はまずそのことにほれ込むこと。同時に、現状に満足することなく、さらに上を目指して努力を積み重ねるチャレンジ精神ではないか。衣笠さんの色紙を見ていると、心底そう思う。

県内のスポーツ界、県体協組織には改善を要する問題や課題が多数ある。いつか情勢が変わるだろうと座視しているだけでは何も変わらない。各競技団体の声によく耳を傾け、「スポーツで秋田を元気に」という夢の実現に向け、限りなき挑戦を続けたい。

## 新役員が選出されました

令和元年 6 月 25 日の定時評議員会において、新役員選任議案が審議され、役員等推薦委員会から推薦のあった理事候補者 25 名及び監事候補者 3 名は、それぞれ賛成票が過半数に達し原案のとおり選任されました。

また、定時評議員会終了後に開催の臨時理事会において、会長・副会長・専務理事を選任しました。新役員体制は次のとおりです。

- 会 長 小笠原 直樹
- 副 会 長 鶴田 有司・辻 良之・田口 将
- 専務理事 齊藤 譲
- 理 事 阿部 芳久・阿部 義弘・伊藤 英幸・岩井 潤・利部 陽子・菊地 隆・北嶋 高雄・齊藤 博史  
佐々木 もと子・佐藤 司・鈴木 雄大・鈴木 信行・田口 康・中島 誠・永沼 崇・平川 順一  
松本 奈緒・三浦 正義・村上 聖子・吉田 光明
- 監 事 下坂 義昭・高橋 真一・佐藤 信英



### 田口 将 新副会長

この度の改選におきまして副会長を仰せつかり、強化担当の業務執行理事を務めさせていただくこととなりました。秋田県スポーツ界の現状を考えたときに、その重責の重さをひしひしと感じております。

本協会は、将来を見据えながらも、昨年から 3 年の短期目標としてチーム AKITA1,000 点プランを掲げ、国体での 10 位台を目指し様々な取り組みをしているところです。時代の流れの時々には必ず課題はありますが、常に前を向いて挑戦していきたいと思っております。その為のキーワードは「チーム AKITA」です。全ての関係者が同じ方向を向いて力を結集させることが今最も重要な事だと考えております。皆様には今後とも変わらぬご指導ご鞭撻、そしてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 【略歴】

秋田県スキー連盟副会長。選手の強化・育成に尽力、平成 19 年の第 62 回国民体育大会「わか杉国体」では天皇杯優勝・皇后杯 2 位、平成 22 年の第 65 回大会から皇后杯 5 連覇、平成 29 年の第 72 回大会においては天皇杯・皇后杯を獲得に大きく貢献。平成 25 年から本会理事等を歴任。



# 令和元年度 県体育協会事業計画

## 【事業方針】

「スポーツ立県あきた」宣言の実現を目指し、国民体育大会（以下「国体」という。）や東京五輪をはじめとする国際大会等の大舞台で活躍できる選手を育成・強化するほか、スポーツへの参加人口・機会の促進等を図るため、加盟競技団体、加盟地域団体、加盟学校体育団体（以下「加盟団体」という。）並びに県等の関係機関と連携・協力し各種事業を推進します。特に、国体等での勝利を目指して頑張っている選手・チームを支援するほか、多くの県民が生涯にわたり健康で生き生きと暮らせるよう、スポーツ・運動機会の充実を図るため関係機関と一体となって取り組んでいきます。

### 1 県民体育大会の開催

第70回県民体育大会を、東北総合体育大会や国体の予選会として開催します。

### 2 競技力向上対策事業

強化計画「チームAKITA 1,000点プラン」に掲げる対策を強力に推進します。特に、高校強化拠点校を中心とした少年種目の強化と、社会人チーム及び女子種目の強化を図るほか、東北ブロックを勝ち抜くため各県戦力の調査・分析等を実施します。

- (1) スポーツ医・科学の活用：スポーツ医・科学委員会のスポーツドクター、トレーナー等によるメディカル及びフィジカル面等の医・科学的サポートを実施するほか、アスリート、指導者、保護者を対象にアンチ・ドーピング教育・啓発のための講習会及び研修会を開催します。
- (2) 東北ブロック大会、国民体育大会への派遣
- (3) 秋田県高等学校強化拠点校制度等による選手育成・強化
  - ①秋田県高等学校強化拠点校への支援
  - ②中学生強化選手の指定・研修
    - ・中学生強化選手競技力向上研修
    - ・中高連携強化プロジェクト研修（選手・指導者）
    - ・タレント発掘合同トライアル及び能力測定・体験会
- (4) トップアスリートの支援：オリンピック・パラリンピックを目指す選手を支援するほか、本県出身者等が県内に就職して安心して競技を続けられるように支援するなど、社会人スポーツ選手等の競技力向上を図ります。
  - ①オリンピック・パラリンピック候補選手の支援
  - ②アスリートの就職支援

### 3 スポーツの普及等に関する事業

- (1) 普及啓発・広報事業：機関誌「スポーツ秋田」の発行やホームページによる情報発信
- (2) スポーツ普及推進事業：加盟団体が実施するスポーツ事業への助成
- (3) スポーツ表彰・顕彰事業：本県の体育・スポーツの振興に寄与された功績が顕著な者に対し、その栄誉を顕彰
- (4) 人見スポーツ傷害基金事業：スポーツ選手の傷害防止の啓発

### 4 生涯スポーツの振興

- (1) 総合型地域スポーツクラブ育成・自立支援事業：県広域スポーツセンター及び県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携し、健康寿命日本一を目指した取り組みを実施します。さらに、全市町村で開催される「チャレンジデー」に総合型クラブが主体的に参加するほか、障がい者も一緒に活動できるよう関係機関と連携していきます。
- (2) スポーツ指導者養成事業：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会及び研修会を開催します。
- (3) スポーツ少年団交流大会：①競技別交流大会 ②全県交流大会 ③リーダー養成事業  
④日独同時交流事業 ⑤スポーツ少年団モデル育成事業
- (4) スポーツ少年団指導者育成事業：①認定員養成講習会 ②認定員等再研修会 ③育成母集団研修会  
④スポーツ少年団顕彰事業 ⑤スポーツ少年団広報普及事業

### 5 組織の運営・財政の確立

- (1) 組織の運営：事務局職員を適材適所に配置するほか、処遇改善等により意欲喚起や組織の活性化を図ります。また、各専門委員会に担当理事・学識経験者の委員のほか、必要に応じて更に専門的立場からの意見を取り入れるため委員を増員するなど強化・充実に努めます。
- (2) 財政の確立：効率的な事業執行や経費の節減はもとより、事業推進や100周年記念事業に備え、賛助会員の増と収益事業により安定的な財源確保に努めるほか、企業等に対し本会事業の重要性について理解を得られるようより一層働きかけ、寄付を募るなど更なる財源の確保に努めます。

## ●令和元年度 県体育協会 今後の主要行事予定

行 事	実 施 予 定 日	場 所
第74回国民体育大会本大会	R 1.9.28(土)～10.8(火)	茨城県
第75回国民体育大会冬季大会 ・スケート、アイスホッケー競技会 ・スキー競技会	R 2.1.29(水)～R 2.2.2(日) R 2.2.16(日)～R 2.2.19(水)	青森県（八戸市）
第3回定例理事会	R 2.3.下旬	未 定
臨時評議員会	R 2.3.下旬	未 定



# TOKYO2020 オリンピック パラリンピック

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催まで1年を切りました。6月のオランダパラリンピック水泳チームの秋田市での合宿など、今後県内様々な場所で、オリンピック・パラリンピック事前合宿地や相互交流などが行われる予定です。

受け入れ自治体	対象国	対象競技	締結状況
美郷町	タイ	バドミントン	H29.7 事前合宿協定 締結
大湯村	デンマーク	ボート	H29.8 事前合宿協定 締結
大館市	タイ	ボッチャ・パラ陸上	H30.12 事前合宿協定 締結
秋田市	オランダ	パラ水泳	R元.6 事前合宿合意書 締結
横手市	インドネシア	バドミントン	H29.7 相互交流基本協定 締結
仙北市	タイ	車いすバスケ	R元.6 スポーツ交流基本合意書締結

(県スポーツ振興課提供 2019.8/2 現在)



8月19日～22日まで美郷総合体育館リリオスでバドミントンタイナショナルチームの合宿が行われました。

練習は、タイの男子選手を相手に北都銀行の女子選手などが、真剣にシャトルを追う姿が印象的でした。浦谷夏未選手(北都銀行)は「普段は体験できない、男子特有のタッチの早さやシャトルスピードを経験することができる良い機会となっている。自身の課題とも繋がることなので、この機会を大切にしたい。」と話されていた。ティン・イスリヤネット選手(タイ)は3回目の来町で「美郷町は山などの景色もきれいで、町の人々も優しい。ご飯もおいしくてプレーに集中できる素晴らしい環境だ。お米とうどんが特に好きだ。」とタイの選手に

とって素晴らしい環境だと話されていました。

合宿について、高橋一久さん(美郷町教育委員会生涯学習課)は、「事前合宿を入り口に、タイとの文化交流を図っていききたい。文化講座などタイの方を招いて積極的に行っていきたい。」と合宿で選手を支えてくれる町のプーアン(タイ語で友達)のボランティアだけではなく、町全体の盛り上がりとしてタイとの交流につなげたいと話されていた。

是非、秋田に訪れるオリンピックムーヴメントを肌で感じ、観るオリンピックだけではなく、支えたり、触れあったりしてみたいはかがででしょうか？

オリンピックまであと1年。秋田の選手、秋田に縁のある選手を応援しましょう!!





# 第28回日・韓・中ジュニア交流競技会秋田大会に向けて

=スポーツ庁国庫補助事業=



期日 令和2年8月23日(日)～29日(土)

来年本県で開催される第28回日・韓・中ジュニア交流競技会を前に、令和元年8月23日から29日まで、中国湖南省・長沙市において、第27回日・韓・中ジュニア交流競技会が開催された。中央競技団体から推薦された選手や指導者に本部役員を加えた263名（帯同コーチ等含む）で日本選手団が編成され、公益財団法人日本スポーツ協会より中国へ派遣された。

本競技会は、日本、韓国、中国の青少年（高校生世代）を対象に、スポーツ交流による相互理解を深め、競技力向上を目的として、平成5年（1993年）より3カ国が持ち回りで開催している。

参加選手は日本・韓国・中国と開催地選抜の4チームからなり、高校生世代では珍しい国際的な複数競技による大会として開催されており、これまでに2万人を超える各国の団員が参加し、過去の参加者がオリンピックをはじめとする国際舞台で活躍するなど、3カ国のスポーツの発展と友好親善に大きな役割を果たしてきた。



【開会式での選手宣誓】

## 11競技に1,000人のトップアスリートが参加

第28回秋田大会（2020年）は、東京オリンピック終了後の8月23日（日）から29日（土）までの7日間、秋田市など3市1町で11競技が行われ、各国を代表する高校生世代のトップアスリートによるハイレベルな試合が期待される。主催は日本スポーツ協会、秋田県、秋田県教育委員会、秋田県体育協会、11の中央競技団体で、各国250名の選手団に本県選抜250名を含めた約1,000人のアスリートが本県に集結する。

開催地	開催競技
秋田市	陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール、ソフトテニス、バドミントン、ラグビーフットボール
湯沢市	ハンドボール
由利本荘市	バスケットボール、卓球
三種町	ウエイトリフティング



【ラグビー日本と中国の選手団】

## 高校生をはじめとする多くの県民が参加する大会へ

競技に参加するのは高校生だが、大会を支える運営・競技スタッフにも多くの高校生に関わってもらいたい。また、同じ競技をしている小・中学生にも観戦してもらうことで、高校生から大きな刺激を受けてほしいし、プレーしている高校生にとってもモチベーションアップにつながり、パフォーマンスの向上が期待できる。県や市町村、教育委員会などにも働きかけて、スポーツを「する・みる・ささえる」という多様な形で、多くの県民に参加を促し、大会を盛り上げたい。



【陸上競技3カ国の選手団】

## 大会成功のカギをにぎるボランティア通訳

国際交流を成功させるために欠かせないのが通訳の存在であり、お互いの意思を正確かつ確実に伝えることが重要な役割となる。本県では、スキー・モーグルの世界大会やラグビーワールドカップの事前合宿など、国際大会や合宿を招致、企画・運営を行っている。来年もこれまでのノウハウを生かし、国際教養大学をはじめとする県内諸大学や関係機関の協力をいただきながら、大会準備に万全を期したい。



【会議での通訳：右から3人目】

※ 写真は第27回日・韓・中ジュニア交流競技会中国・長沙大会より



# 令和元年度 第45回東北総合体育大会 成績一覧

競技名	種別・種目	枠	46	通過
アイスホッケー	成年男子		1位	
	少年男子		1位	
水 泳	水 球	少年男子	2位	1位
		女子	1位	1位
	少年女子	アーティスティックスイミング	2位	1位
サッカー	成年男子	1位	1位	◎
	女子	1位	5位	×
	少年男子	3位	4位	×
ボ ー ト	成年男子	舵手つきフォア	2位	4位
		ダブルスカル	5位	2位
		シングルスカル	3位	2位
	成年女子	舵手つきフォドルブル	1位	2位
		ダブルスカル	2位	2位
		シングルスカル	2位	5位
	少年男子	舵手つきフォドルブル	3位	4位
		ダブルスカル	3位	5位
		シングルスカル	2位	5位
	少年女子	舵手つきフォドルブル	3位	1位
ダブルスカル		2位	3位	
シングルスカル		2位	3位	
フェンシング	成年男子	5位	2位	
	成年女子	3位	3位	
	少年男子	2位	2位	
	少年女子	2位	1位	
バドミントン	成年男子	2位	3位	
	成年女子	5位	1位	
	少年男子	4位	5位	
	少年女子	2位	3位	
カ ヌ ー	成年男子	スプリントK-1	3位	1位
		スプリントC-1	3位	1位
		スラロームK-1	3位	2位
		スラロームC-1	1位	1位
	成年女子	ワイルドK-1	1位	1位
		スプリントK-1	2位	1位
		スプリントC-1	1位	1位
		スラロームK-1	2位	1位
	少年男子	スラロームC-1	1位	1位
		ワイルドK-1	1位	1位
		スプリントK-1	4位	3位
		スプリントC-1	3位	4位
	少年女子	スプリントK-2	1位	1位
		スプリントC-2	1位	1位
		スプリントK-4	1位	1位
		スプリントK-1	3位	4位
ポウリング	成年男子	3位	3位	
	成年女子	3位	5位	
	少年男子	3位	6位	
	少年女子	3位	6位	
ゴルフ	成年男子	5位	5位	
	女子	5位	5位	
陸上競技	少年男子	3位	6位	
	男子	5位	6位	
テ ニ ス	成年男子	3位	4位	
	成年女子	3位	3位	
	少年男子	5位	5位	
	少年女子	5位	5位	
ホッケー	成年男子	1位	5位	
	成年女子	1位	1位	
	少年男子	1位	1位	
	少年女子	1位	1位	
ボクシング	成年男子	3位	1位	
	少年男子	2位	6位	
	成年女子	3位	2位	
バレーボール	成年男子	2位	5位	
	成年女子	2位	3位	
	少年男子	3位	4位	
	少年女子	3位	2位	
ビーチバレーボール	少年男子	5位	6位	
	少年女子	5位	4位	
体 操	体操競技	成年男子	1位	3位
		成年女子	1位	1位
		少年男子	3位	2位
	新体操	少年女子	3位	6位
		少年女子	3位	1位
		男子	2位	3位
トランポリン	女子	2位	2位	

競技名	種別・種目	枠	46	通過
バスケットボール	成年男子	2位	1位	◎
	成年女子	2位	2位	◎
	少年男子	3位	4位	×
	少年女子	3位	3位	◎
レスリング	成年男子	5位	1位	S
	少年男子	5位	4位	S
ウエイトリフティング	成年男子	5位	1位	S
	少年男子	5位	5位	S
	女子	※	◎	
ハンドボール	成年男子	2位	3位	×
	成年女子	2位	3位	×
	少年男子	2位	3位	×
	少年女子	2位	5位	×
自 転 車	成年男子	5位	4位	S
	少年男子	5位	4位	S
	女子	5位	1位	S
ソフトテニス	成年男子	5位	4位	S
	成年女子	2位	6位	×
	少年男子	3位	3位	◎
	少年女子	2位	6位	×
卓 球	成年男子	2位	5位	×
	成年女子	5位	1位	S
	少年男子	4位	4位	◎
	少年女子	2位	5位	×
軟式野球	成年男子	4位	2位	◎
相 撲	成年男子	5位	5位	S
	少年男子	5位	1位	S
馬 術	成年男子			※ S
	成年女子	※	5位	※ S
	少年			※ S
柔 道	成年男子	5位	1位	S
	少年男子	2位	6位	×
	成年女子	2位	6位	×
ソフトボール	44回大会から「女子」	2位	6位	×
	成年男子	1位	3位	×
	成年女子	1位	5位	×
	少年男子	2位	5位	×
弓 道	少年女子	2位	5位	×
	成年男子	3位	3位	◎
	成年女子	3位	※3位	×
	少年男子	2位	3位	×
ライフル射撃	少年女子	2位	2位	◎
	成年男子			◎
	成年女子	※	5位	◎
	少年男子			◎
剣 道	少年女子			×
	成年男子	5位	4位	S
	成年女子	2位	6位	×
	少年男子	2位	2位	◎
ラグビーフットボール	少年女子	2位	3位	×
	成年男子	2位	1位	◎
	女子	1位	2位	×
スポーツクライミング	少年男子	2位	3位	×
	成年男子	5位	6位	S
	成年女子	2位	4位	×
アーチェリー	少年男子	3位	3位	◎
	少年女子	2位	2位	◎
	成年男子	3位	6位	×
	成年女子	3位	6位	×
空 手 道	少年男子	2位	5位	×
	少年女子	2位	1位	◎
	成年男子	2位	2位	◎
	成年女子	2位	2位	◎
銃 剣 道	成年男子		4位	
	少年男子		5位	
クレー射撃	成 年	トラップ	5位	1位
		スキート	4位	2位
なぎなた	成年女子	演技	5位	3位
		試合	5位	3位
	少年女子	演技	5位	5位
		試合	4位	4位

／…未実施、S…ストレート出場、◎…通過、×…不通過  
 -…不出場 ※…ライフル射撃及び馬術は東北内では振り分け、ウエイトリフティング(女子)は記録申告で決定  
 東北総体未実施競技【水泳(競泳・飛込・オープンウォーター)】【セーリング】  
 【トライアスロン】【レスリング女子】【スキー】【スケート】



## 令和元年度 全国高等学校総合体育大会 成績一覧

開催期間：7月24日(水)～8月20日(火) 会場：熊本県・鹿児島県・宮崎県・沖縄県・和歌山県

順位	競技名(種目名)	氏名・所属
1位	フェンシング女子学校対抗	聖 霊 土佐 千乃 <sup>③</sup> 酒井さゆり <sup>③</sup> 嶋田 愛音 <sup>②</sup> 佐藤めるしい <sup>②</sup> 成田 実礼 <sup>②</sup>
	カヌー男子スプリント・カヤックペア 500 m	本 荘 阿部 智礼 <sup>③</sup> 佐々木 絵 <sup>③</sup>
3位	フェンシング女子フルーレ	土佐 千乃(聖霊 <sup>③</sup> )
	陸上競技女子ハンマー投	稲垣 愛結(花輪 <sup>③</sup> )
5位	レスリング男子 ※ベスト8	秋田商業 加藤 舜基 <sup>③</sup> 田村 拓斗 <sup>③</sup> 藤原 颯人 <sup>③</sup> 片岡 東哉 <sup>②</sup> 山口 玲旺 <sup>②</sup> 小玉 大斗 <sup>②</sup> 宮原健史郎 <sup>①</sup> 山下 修誠 <sup>①</sup> 保坂 典樹 <sup>①</sup> 渡邊 大夢 <sup>①</sup> 今野 駿輔 <sup>①</sup>
	レスリング女子47kg級 ※ベスト8	岩澤 愛希(秋田商業 <sup>③</sup> )
	バスケットボール男子 ※ベスト8	能代工業 須藤 陸 <sup>③</sup> 栗屋 颯太 <sup>③</sup> 秋元淳之介 <sup>③</sup> 伊東 翼 <sup>③</sup> 上村 悠真 <sup>③</sup> 榊原 啓斗 <sup>③</sup> 森山 陽向 <sup>②</sup> 上村 大佐 <sup>②</sup> 佐々木駿汰 <sup>②</sup> 中山 玄己 <sup>②</sup> 成澤 頼 <sup>②</sup> 大石 隼 <sup>②</sup> 高橋 裕心 <sup>①</sup>
6位	新体操女子個人種目別ボール	二木 妃菜(秋田和洋女子 <sup>③</sup> )
	登山女子団体※	横 手 高橋 綾乃 <sup>③</sup> 齊藤 凜 <sup>③</sup> 池田 梓織 <sup>③</sup> 太田 羽優 <sup>①</sup>
7位	フェンシング男子エペ	仙葉 遼輔(秋田南 <sup>③</sup> )
	ボート女子舵手つきフォドルプル	本 荘 菊地 清菜 <sup>③</sup> 土方 佑夏 <sup>③</sup> 越川 瞳 <sup>③</sup> 斎藤 陶子 <sup>③</sup> 堀内菜々花 <sup>③</sup>
8位	自転車競技 1000 mタイムトライアル	糸井 星夜(大曲農業 <sup>③</sup> )

※国体競技種目外

## 令和元年度 全国中学校体育大会 秋田県選手上位成績一覧

開催期間：8月 会場：全国各地

順位	競技名(種目名)	氏名・所属
3位	軟式野球	仙北中学校
5位	剣道：女子団体	土崎中学校



# いきいき茨城ゆめ国体2019 注目チーム&選手

ウエイトリフティング競技での  
本県初女子選手

ウエイトリフティング競技  
能代工業高校  
後藤 叶 選手  
(ごとう かな)



今回の東北総合体育大会では、大会前の練習ではあまり調子が上がらず、少し不安な気持ちで試合に臨みました。それでも大会ではうまく集中することができ、平凡な記録ながら優勝できたことに満足しています。

ウエイトリフティング女子の部は少年と成年の区別がなく、全国ランキングの上位16名が出場します。県民体育大会がその予選となっており、試合では好記録を確実に残すことが求められました。スナッチは三本の試技を成功させることができましたが、クリーン&ジャークは二本成功で終わり、目標に届きませんでした。8月中旬に結果が発表されるまでは不安でしたが、出場が決まったときは、本県では初めてということもあり、とてもうれしかったです。大会にはオリンピック選手をはじめ、日本のトップ選手が多数出場予定であり、いろいろなことを学べるチャンスだと思い、とても楽しみにしています。

練習ではスナッチおよびクリーン&ジャークの反復練習でしっかりフォームを固め、スクワットやデッドリフトなどで下半身の強化をしていきたいです。そして、試合では自己記録更新を目指して頑張りたいです。そうすれば自然に入賞が見えてくるはずです。これまでは学校の代表でした

が、今度は秋田県の代表という肩書きも加わります。プライドを持って試合に臨みたいと思います。



少年男女で初のアベック出場

スポーツライミング競技  
秋田高校  
荒巻 修治 選手  
(あらかまき しゅうじ)



7月に福島県で行われた東北総体で団体として三位に入賞し、国体への出場権をつかむことができました。

東北総体の日のことを振り返ると、私はボルダリング競技での“最後の3秒間”が特に印象に残っています。

ボルダリング競技は、制限時間内に4課題のうちいくつ登れたかを競う競技です。今回の大会は私にとって少年男子代表として最後の東北総体でした。

初めは緊張していましたが、楽しみながら順調に登ることができていましたが、徐々に体力や時間配分がうまくいかなくなり、最後にゴールした時には制限時間からすでに3秒が経過していたのです。その時の悔しさを私は忘れることができません。東北総体への出場を通して、私は目の前のことだけにとらわれず、視野を広く持つことの大切さを実感しました。国体ではこの反省点を踏まえ、良い結果を残したいと思えます。

また、こうしてボルダリング競技を続けることができたのは、大会の準備をしてくださった山岳連盟、熱心にご指導してくださった監督、支えてくれた家族や切磋琢磨した仲間、応援してくださった皆様のおかげです。国体では、出場できる喜びと支えてくださる皆様への感謝の気持ちを忘れずに、最後まで全力でプレーしたいです。応援よろしく願います。



インターハイの勢いそのまま国体へ

自転車競技  
大曲農業高校  
糸井 星夜 選手  
(いとい しょうや)

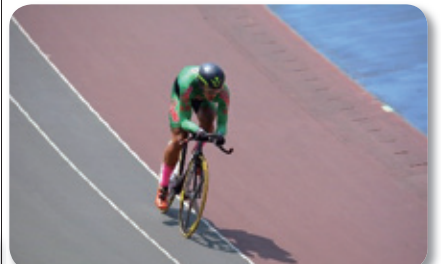


今年の東北総合体育大会を通して課題を明確にすることができました。

チームスプリントでは3走として出場しました。スタートの際にダッシュ力がなく、1・2走に追いつかず、無駄足を使ってしまったことにより、ラスト1周で力が入らず、終わってしまいました。1kmタイムトライアルでも同じく、スタートダッシュが課題です。最初のダッシュでどこまでスピードを乗せることができるかが鍵となると思います。そのためにもダッシュ力を向上させるために短い距離の練習をどんどん行ってダッシュ力を高め、長い距離も走って持久力を落とさないようにしていきたいです。ダッシュ力と持久力どちらも成長できるようにしたいと思います。

茨城国体ではチームスプリント、1kmタイムトライアルに出場します。目標はチームスプリントで自分たちの自己ベストを更新したいです。1kmタイムトライアルでは自己ベストの1分6秒を切り、ベスト更新を狙っていきます。そのためにもスタートダッシュでしっかりとスピードを乗せ、自分の長所である後半の強さを活かせるようにしていきたいです。

国体という大きな大会で最高のパフォーマンスを発揮するために、体調管理や機材管理などをしっかり行い、これまで支えてくださった沢山のひとに感謝の気持ちを忘れず、秋田県に優勝という形で恩返しができるように全力で走り抜いてきます。







今年度の国体は、茨城県を中心に9月28日から10月8日までを主会期とし、先行して9月7日から8日に新体操競技とトランポリン競技、9月11日から16日に体操競技、ビーチバレー競技、水泳競技4種目が開催されます。今大会は33競技313人が出場します。そのなかで注目したいチーム及び選手を紹介します。

**少年男子21年ぶりに  
勝ち上がりで国体出場**

ソフトテニス競技  
少年男子  
福田 則彦 監督  
(ふくだ のりひこ)

福島県で開催された第46回東北総合体育大会に出場し、3位の成績で国体出場を決めることが出来ました。

ソフトテニス競技は団体戦で行われ、3戦ダブルスだった対戦形式が、平成27年度よりダブルス、シングルス、ダブルスの3対戦の形式となりました。そのため、当時の小野大輔監督(現県高体連強化委員長)と藤原淳コーチ(現県高体連専門部委員長)、福田の判断で、それまでなかったシングル強化に取り組み始めました。敏捷性や状況判断力の育成に力を入れ、それがようやく昨年度あたりから形になりはじめ、あの時の判断があったからこそ、今年度の勝利があると思っています。

今年のチームは、インターハイの後の北陸、北関東遠征を経て、県内強化練習での仕上がりに手応えを感じていた。大塚成主将を中心にチーム8人がよくまとまり、明るく、たくましい、総合力の高いチームに育ちました。

東北総体1日目を終え、1勝2敗。しかし、不思議と悲壮感はなく、翌2日目、地元福島との3番勝負、最終ダブルス戦をファイナルゲームでもぎ取ると、勢いにのったまま次の青森戦を全勝で勝利し、3勝2敗で国体出場権を獲得しました。21年ぶりの勝ち上がりでの国体出場と聞き、選手団一同、胸が躍っています。地の利のない茨城での試合は困難も多いだろうと思いますが、一点にこだわる執念と気迫で、入賞を目指します。

- 【選手】 大塚 成(能代松陽)  
岩間 大輝(秋田北鷹)  
佐藤 大晴(秋田北鷹)  
小坂 朝陽(秋田北鷹)  
本間 勇太(秋田北鷹)  
加賀屋翔大(大曲工業)  
高橋 竜(大曲工業)  
福田 和彦(大曲工業)



**わか杉国体以来の入賞を目指す**

軟式野球競技  
宮腰デジタルシステムズ  
主将 三浦 広大 選手  
(みうら こうだい)



私たち軟式野球は、各チームで秋田県大会を勝ち上がり、優勝したチームをメインに他チームから補強選手を加え、国民体育大会出場に向けてのメンバーが結成されます。

国民体育大会に向けて本格的に始動したのは7月からでした。国民体育大会では、攻撃のパターンや、守備のパターンなど自チーム以外の選手と合わせなければいけないところが細かく沢山ありましたがチームとして1つだけ大きな目標を作り、個人の役割は違いますが、そこに向かっていく工夫が生まれました。チームが出来てから約1カ月で東北総体が始まり、東北からは4チームが出場する事が出来、秋田県は青森県、岩手県との総当り、勝ち点制で行いました。

初戦、青森県とは、相手チームが好投手で、我慢の試合となりましたが、投手戦の末、2-1で勝つ事が出来ました。続けて第2戦の岩手県と戦い、終始相手の流れではありませんでしたが、この試合も我慢の展開が続き、終盤に同点に追い付き、タイブレークの末、3-1で勝つ事が出来ました。翌日の決勝戦では、山形県に負けてしまい、結果、東北2位で国民体育大会出場が決まったのですが、試合前や試合後に、秋田県関係者の方や野球関係者の方から激励の言葉を頂き、応援して頂いた事が自分も含めチーム全員もとても励みになり力になりました。

軟式野球は他競技に比べ、まだまだ注目されない競技ですが、国民体育大会を機に「自分も野球がやりたい! 野球を応援に行きたい!」と言ってもらえるように頑張ります。

自分達は秋田県代表でもあり、東北の代表でもあるので、これまで出てきたミスなどを克服していき、秋田県に貢献出来るように頑張ります。



**昨年のリベンジ!  
秋田の最速女子ランナー**

陸上競技  
秋田和洋女子高校  
成田 千栞 選手  
(なりた せんか)



茨城国体では、昨年逃した決勝進出とまだ出せていない11秒台の自己ベストを目指し上位入賞します。

初参加の福井国体は、中学生では体験することのできない大舞台でした。年上の高校生選手に圧倒され本来持っている力を発揮することができず、全体の9位という成績でもう少しのところで決勝を逃してしまいました。

二度と同じ失敗はしたくないと思い、県内屈指の短距離走を専門に教えてくれる秋田和洋女子高校に進学しました。

進学先には室内走路が完備されており、天候に左右されず走るトレーニングを積むことができています。また、指導者である石川先生や良き先輩、仲間とめぐり逢い、日々緊張感をもった練習ができるようになったこと、物理的走技術の習得、夏期強化合宿などで走り込みも行いました。

その中でも大きく成長できたことは、考える陸上競技に取り組み、スタートダッシュやトップスピード時のフォーム改善に取り組めたこと、さらには、東北大会、インターハイ、全国選抜大会に参加し、大舞台での経験を積むことができ、精神面においても改善、成長することができました。

今年こそ、私を支えてくれている両親、地元大館の仲間、学校の先生、先輩、陸上競技部の仲間、秋田県に良い報告ができるように、100mに全てをぶつけてきたいと思えます。





# 第74回国民体育大会秋田県選手団結団式

令和元年9月4日(水)秋田県立体育館において、第74回国民体育大会秋田県選手団結団式を開催しました。本県選手団は正式競技33競技に選手・監督385名と本部役員の合計413名が参加し、先行開催は9月6～16日、主会期は9月28日～10月8日に茨城県内に開催されます。

## ～ドーピング防止講習会～



受講している選手たち

国体に出場する監督・選手を対象にドーピング防止講習会を開催しました。スポーツファーマシストである鳥海良寛氏を講師に招き、アスリートとしてドーピングに関する必要な知識を中心に講演していただきました。選手からは「国体だけでなく、様々な大会でフェアな戦いができるよううっかりドーピングを含め、普段から気をつけたい」などという声が聞かれました。



講師を務める鳥海良寛氏

## ～結 団 式～

### ○オープニング

結団式に先立ち秋田市立山王中学校吹奏楽部による演奏にて秋田県選手団へ力強いエールをいただきました。その後、本会及び県スポーツ科学センタースポーツ医科学班が制作したモチベーションビデオを放映しました。



山王中学校吹奏楽部

### ○激励費・団旗の授与

選手団を代表して軟式野球競技成年男子チームの主将である三浦広大選手(宮腰デジタルシステムズ)に秋田県、秋田県議会、秋田県教育委員会、秋田県体育協会から激励費が授与されました。



緊張して出番を待つ3人(左から)藤枝選手、大塚選手、三浦選手

また、団旗を小笠原団長より、総合開会式で旗手を務めるソフトテニス競技少年男子の大塚成選手(能代松陽高校3年)に授与され、力強く行進すると誓いました。



激励費を受け取る三浦選手

### ○あいさつ



結団式では秋田県選手団、小笠原直樹団長が「今ここに集った選手諸君には、もうすでに国体に臨む心構えが定まり、覚悟も固まっていることと思います。改めて励ましの言葉は必要ないでしょう。開幕までの期間、万全の調整をして、大会では秋田県代表としての誇りを胸に正々堂々と悔いのない闘いをしてほしい」と挨拶しました。

### ○激励のこたば



来賓を代表して、堀井啓一副知事、秋田県議会加藤鉦一議長、秋田県教育庁渡部克宏教育次長から激励の言葉をいただきました。



堀井副知事から「皆さんには茨城国体では全力で戦ってほしい。目標である1000点、あるいは10位台これは決して夢ではない。みなさんの力を結集して達成させよう」



加藤議長から「秋田の皆さんの一心を背負って、これまで懸命に打ち込んできた練習の成果を最高の舞台上で最高のパフォーマンスをしてきてもらいたい」

最後に渡部教育次長から「国民体育大会は我が国最大のスポーツの祭典である。秋田代表という誇りを胸に、県民の皆さんの胸を熱くするような活躍を期待している」と激励がありました。

選手団に鼓舞激励する堀井副知事、加藤議長、渡部教育次長

### ○選手宣誓



(左) 力強く選手宣誓をする藤枝選手 (右) 騎手を務める大塚選手

選手団を代表してなぎなた競技少年女子の藤枝愛美選手(大曲高校3年)が「新たな時代の幕開けとなる令和最初の国民体育大会に出場できることを誇りに思い、平成から積み上げてきたスポーツ立県あきたの未来を新時代へと引き継ぎ、東北を勝ち抜いた自信と郷土の代表であるという自覚を忘れず、これまで支えて下さった多くの方々へスポーツの力で恩返しができるようどんな困難にも諦めず、最後まで全力で戦い抜くことを誓います。」と力強く宣言しました。

### ○パフォーマンス

茨城国体での活躍を祈念し秋田大学よさこいサークル「よさとせ歌舞輝」がパフォーマンスとして、選手団を鼓舞しました。



秋田大学よさこいサークル「よさとせ歌舞輝」



## 秋田県中学生強化選手指定証交付式



令和元年6月29日(土)秋田市文化会館において第16期秋田県中学生強化選手指定証交付式を挙りました。

令和になって初の指定となるこの中学生強化指定選手制度は、将来全国規模の大会で上位入賞できるよう、選手強化及び競技力向上を図ることを目的として、平成23年度にスタートし今回で16期目の指定となります。秋田県、秋田県教育委員会及び秋田県体育協会が3者連名で指定する「中学生強化選手」は、各競技団体が主催する高校生との合同練習や合宿、県体育協会が主催する競技力向上研修、パフォーマンステスト、トレーニング研修等に参加できるほか、医・科学に関するサポートを受けることができます。

指定証交付式では、米田進県教育長から各競技団体の代表者に指定証が交付され、激励の言葉をいただきました。その後、中学生強化選手を代表し、新体操競技の佐々木陽愛(太平中学校3年)が「令和元年という記念すべき年に指定を受けたことを大変誇りに思う。ご指導して下さる先生方、応援してくれる地域の方々や仲間達、支えてくれる家族への感謝の気持ちを忘れず、努力していきます。」と力強く決意表明をしました。

今回は、スケート、スキー、陸上競技、水泳、体操(新体操)、バスケットボール、レスリング、卓球、柔道、剣道、ラグビーフットボール、山岳、空手、ボウリングの14競技65名を新たに指定しました。この制度ではこれまで延べ933名が指定を受け、高校進学後に全国制覇を成し遂げる選手も生まれています。現在中学校に在籍している160名の強化選手が、今日も全国での活躍を目指して頑張っています。



米田教育長からの指定証交付



決意表明をする佐々木選手

## 秋田県中学生強化選手メディカルチェック

指定証の交付式が行われた令和元年6月29日(土)午後、同会場4階(第6会議室)で秋田県中学生強化選手のメディカルチェックを行いました。今回は秋田県体育協会スポーツ医・科学委員のドクターを中心に整形外科のドクター5名、理学療法士2名、健康運動指導士1名、看護師2名、計10名の方々にご協力いただき、血液検査、関節可動域のテスト(立位、座位、伏臥位、仰臥位)、運動機能テスト、問診を行いました。各検査会場ではテストや検査を行いながら、選手のコンディションを確認し、即時評価とアドバイスを行い今後のトレーニングや生活に生かしてもらえるようにしています。

また、選手に加え保護者・指導者を対象に、9月14日(土)、15日(日)にスポーツドクターによる個別のフィードバックと理学療法士による関節可動域のセルフチェックの指導やパフォーマンス向上に必要なたくさんのアドバイスを頂きました。これをもとに秋田県中学生強化選手が更なる飛躍を遂げてくれることを期待しています。



関節可動域テスト



フィードバック



## 令和元年度秋田県中学生強化選手育成事業競技力向上研修 I

8月31日(土)から9月1日(日)の2日間にわたり、秋田市自然学習センターまんたらめにおいて秋田県中学生強化選手全学年を対象とした合宿研修が開催されました。競技力向上の土台となる「気持ち」「思考力」「主体性」に焦点をあて、多様なプログラムのもと競技団体強化担当者8名、16競技70名の秋田県強化選手が元気に参加しました。



3年連続参加の加成京介選手の決意表明



廣田アナからのメディアトレーニング



心を一つに課題に挑戦!!



段取りの良い工程を考えながら野外炊飯



朝のフレッシュな空気の中、座禅で精神集中!!



アスリートに必須なリスクマネジメント



口腔環境とパフォーマンスについて



ロンドンオリンピック金メダリスト小原日登美選手



憧れの金メダル!!

今回の合宿研修では、チームとして取り組む活動をメインに、その中で相手に自分の考えを伝えることや、仲間を尊重し、良いところも悪いところも互いに認め合いながら、協力して課題に挑戦し解決する能力を身につけることを目標に様々なプログラムに取り組みました。今後、自チームの枠を越えてレベルアップするためには「コミュニケーション能力」が重要であることを多くの選手達が感じ、限られた時間の中で積極的に仲間と交流し人間関係を構築しようとする姿が見られました。また、アスリート講話ではロンドンオリンピック金メダリストの小原日登美選手(女子レスリング48キログ級)を講師として招き、家族や仲間など自分を支えてくれる存在へ感謝の気持ちを忘れず競技すること、夢を諦めない強い想いを持つことの重要性などをお話していただきました。

参加した選手からは、「今まで人見知りだったが、今回の研修で積極的に関わることが出来た」「学校では学べない体験が沢山できて勉強になった」「今後の競技生活に生かすことのできる内容だった」などの声が多くあがり、チームに戻ってからも継続することを共に誓い合いながら研修を閉じました。



## 期待のジュニアアスリート VOL.4

秋田県中学生強化選手の中から、東北大会、全国大会を経験した3名の選手に競技との出会いや魅力、今後の目標を聞きました。



田子 麻聖 選手  
(十和田中学校3年：相撲)



佐々木 陽愛 選手  
(太平中学校3年：新体操)



宮島 悠汰 選手  
(城東中学校3年：バスケットボール)

### Q. 競技との出会い・きっかけは？

田子：小学校の頃、放課後に相撲部を見学していて「やってみないか？」声をかけられたのがきっかけです。

佐々木：TVで見たときに楽しそうだと思って始めました。実際に体験をして、とても自分に合っていると感じたからです。

宮島：兄がやっていた影響と友達から誘われたからです。

### Q. 競技の魅力・醍醐味は？

田子：体が小さい人でも大きい人に勝つことができるところです。

佐々木：音楽に合わせて手具を使い美しく演技、表現するところです。

宮島：チームスポーツであるため団結力が必要とされることです。

### Q. 出場した東北中学校大会、全国中学校大会はどうでしたか？

田子：どの試合でも緊張感を持って取り組むことが大事だと感じました。強い相手に勝った時に安心して気を緩めてしまい、他の試合で負けてしまったので強い気持ちと集中力を保つことが大事だと感じました。

佐々木：東北の代表として出場して、とても緊張しましたが最後まで笑顔で演技することが出来ました。他県の上位選手を見ることが出来たのも財産になりました。今後に活かしていきたいです。

宮島：県大会とは違った空気感があり、とてもワクワクしました。

### Q. 今後の目標は？

田子：残り少ない試合で自分の納得のいく相撲をとることです。高校では色々なことにチャレンジしていきたいと思っています！

佐々木：高校でも新体操を続けたいと思っているので、努力していきます。これから、ジュニアオリンピックや秋田県Jrもありますので個人も団体も頑張ります。新体操大好きです！

宮島：スポーツを通じて精神力などを鍛えて、人間的に成長していきたいです！

秋田県スポーツの明るい未来を、君たちが切り拓け!!



## 第56回秋田県スポーツ少年大会兼ジュニアリーダースクール

- 期 日 7月26日(金)～28日(日)
- 会 場 仙北市 秋田県立田沢湖スポーツセンター
- 参 加 者 小学5年～中学生64名、リーダー12名  
引率指導者10名(各市町村より)
- 概 要 全県より集まった団員が野外活動やスポーツ、集団生活などを通して、交流を深めながら研修を行った。県リーダー会がプログラムを立案、運営し、リーダーとしての資質向上も図られた。
- 主な内容 ナイトハイク、駒ヶ岳登山、レクリエーション、歌・ダンス、講義(スポーツ少年団・リーダーについて)、小運動会、ニュースポーツ(ラート)、野外炊飯、キャンプファイヤー、まとめ(寄せ書き等)

### 参加者の感想

武石 彰太(小6) かみこあに(上小阿仁村)

1日目は歌、ダンスをがんばった。2日目の野外炊飯は、ご飯を炊くのを担当しハプニングがあったが、おいしくできました。みんなと過ごしたことをふり返るのは大事なことなので、3日目は「まとめ」が強く心に残っている。

阿部 薫(小6) ジャングル Kids(にかほ市)

分団の目当てを書いた旗をみんなで作って団結力が高まった。登山は、やる前はとてもしんどかったけど、どんどん登っていくうちに景色がとてきれいなになり「もっと登りたい!」と思った。大変だったけど楽しかった。他の市町村の子とも仲良くなれたのでよかった。

高橋 朱音(小6) ADOVANCE(横手市)

最初は分団の中で知っている人が2人しかなくてとても不安だった。でも、レクリエーションやキャンプファイヤー、運動会など、ひとつひとつ活動をやるたびにみんなのきずなが深まり、うれしかった。

信太菜都姫(中2) SNOW(大館市)

分団長になって戸惑ったが、リーダーがリードしてくれてやりやすかった。私と年があまり離れていないリーダーがすごく頑張っていてかっこよかった。そして明るく話しやすくて、一緒にいて楽しかった。来年も絶対参加し、高校生になったらリーダーになりたいと思った。



## 日独スポーツ少年団同時交流事業(受入)報告

日本スポーツ少年団とドイツスポーツユースとの交流事業は、昭和49年から開始され、今年で46回を数える歴史と伝統ある事業です。この度、ご縁があって五城目町で受入することになりました。五城目町としては初めての事業です。

事業のイメージが白紙のまま、予算要求や協力依頼など、不安定な行動でご迷惑をかけていたことが思い出されます。しかし、受け入れを決めた以上、逃げのわけにもいきませんので、インターネットをはじめとした情報収集に徹し、受け入れの素案を作成しました。振り返ればまさに「ドタバタ劇」でした。

受け入れのコンセプトは、ドイツ団員への思い出づくり。とにかく、いろんな体験や交流を経て得る思い出をドイツに持ち帰ってもらおうというものでした。

そのコンセプトをもとに、プログラムを作成し、事業を迎えました。結果論ですが、プログラムの日程をこなしていくうち、さまざまな不安は払しょくされ、ドイツ団9名に喜びと感動を与えることができたと思います。私自身にとってもいい思い出づくりとなりましたし、当時は振り返っても団員の笑顔がよみがえってきます。

また、地元五城目高校の生徒とのディスカッションは、昨年に引き続き「スポーツにおけるインクルージョン」というテーマでした。開始直後は、うまくかみ合わず、心配したところもありましたが、時間が経つにつれ、表情も穏やかになり、見事なディスカッションをすることができました。五城目高校の全面的なご協力により、事前の準備から資料作成、そして英語でプレゼンするという、すべてにおいて素晴らしい内容でした。

ディスカッション当日夜に行われたお別れの会においても、五城目高校の生徒が一同に介してくれ、団員も楽しい時間を過ごしてくれたことと思います。お互い写真を撮ったり、握手する光景は、とても笑顔であふれていました。

秋田の片田舎、五城目町で体験したことが、ドイツ団員にとって生涯の思い出として心に刻んでくれることを願います。また、いつか日本に来たときや日本の情報がどこかで流れたとき、私たちのことを思い出してくれば幸いです。

世界からみれば、この事業のイメージは、猛暑が続いた秋田の夏でのちょっとした線香花火。しかし、そんな世界から、どんどん成長して大輪の花火として活躍されることを願ってやみません。

この事業を推してくれた、秋田県スポーツ少年団の福原本部長をはじめとする、すべての方々に感謝します。ありがとうございました。

五城目町 佐々木 丈





## チャレンジデー2019あきた

～5年連続で県内全自治体が参加、25市町村が多彩なプログラムを開催～

### ◎決起集会

チャレンジデーは、日常的に運動・スポーツを楽しむきっかけづくりを目的に、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施される住民総参加型スポーツイベントです。人口規模がほぼ同じ自治体同士で、15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率を競い合うというルールです。この対戦をきっかけに自治体間での継続的な交流が生まれています。今年度は令和元年5月29日(水)に開催されました。チャレンジデー開催前日の5月28日(火)には、秋田市の秋田県市長村会館を会場にして、「チャレンジデー2019あきた決起集会」が開催されました。

「チャレンジデー2019」の本番に向けて、佐竹知事・佐々木観光文化スポーツ部長・渡邊笹川スポーツ財団理事長・小笠原体育協会会長・他25市町村長が集結し、参加者全員で「チャレンジデー、がんばろう！」のエールで健闘を誓い合いました。



決起集会(5月28日)／秋田県市町村会館

### ◎チャレンジデー2019《5月29日(水)開催》

本番では、25市町村で、ラジオ体操やジョギング、グラウンド・ゴルフ、バレーボール等それぞれの多彩なプログラムを基に運動やスポーツが行われました。

また、チャレンジデー大使として、湊祐介さん(スキー距離選手)、石垣寿美子さん(スキー距離選手)、三浦隆司さん(ボクシング・県体協テクニカルアドバイザー)の県出身トップアスリートが各地の開催場所を激励訪問しました。

本県では5年連続で全自治体(25市町村)が参加し、参加者数は、702,734人(昨年は689,052人)参加率は70.3%(昨年は68.0%)でした。

日本全国の参加率は、該当する総人口数が5,200,694人で総参加者数が3,065,438人(昨年は3,315,699人)で全体参加率が58.9%(昨年は61.2%)でした。



ニプロハチ公ドーム(大館市)



あぎざんスタジアム(秋田市) みんなでラジオ体操



赤坂総合運動公園グラウンド・ゴルフ場(横手市)

### ◎県内結果

勝敗 18勝8敗(※1自治体トリプル対戦あり)

メダル数 金22個、銀3個(※メダルはカテゴリー人口に対して授与基準(%)が設定されている。)

### ◎チャレンジデーアワード受賞自治体(秋田県関係分)

「カテゴリー別優秀賞…各カテゴリー(1～6)で最も参加率が高かった自治体に贈られる賞」

カテゴリー2《人口6,000～15,000人》秋田県五城目町77.7%(参加者数7,223人/人口9,295人)



## 秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

～「円熟健康運動普及員」養成講習会／地区交流会・全県交流大会を開催中～

### ◎「円熟健康運動普及員」養成講習会

連絡協議会の今年度の新規事業として『県民の誰もが、生涯にわたってスポーツを通じて健康維持・増進が図られるよう、いつでも気軽に運動ができる環境を整備し、健康寿命の延伸に寄与するため総合型クラブに「円熟健康運動普及員」を配置する。』という目的の基、秋田県体育協会からの委託事業として開催いたしました。

講習の内容は、「円熟体操を基本とした健康運動」の指導方法を習得してもらう内容です。

（※円熟体操とは、秋田県スポーツ科学センターでプログラム化した脳トレ・ストレッチ・筋力トレーニング・有酸素運動で構成されている体操です。）

講習会は、6回開催して、A講習（脳トレ／ストレッチ）6/15・6/22・6/29、B講習（筋トレ／有酸素運動）7/13・7/20・7/28、という形で開催いたしました。講師には秋田県スポーツ科学センターの職員の皆様にご協力頂きました。

総合型クラブのうち22クラブ38名の方が受講修了して、正式に8月20日付けで、普及員証と認定証書を県体協会長名と連絡協議会会長名の連名で発行いたしました。



秋田県スポーツ科学センター3F・体育場（6月29日）



秋田県スポーツ科学センター3F・体育場（7月20日）

### ◎県北地区クラブ交流会

7月25日（木）、県北地区クラブ交流会が、藤里町町民体育館（藤里町）で開催されました。交流種目はユニカールで8クラブから72名が参加いたしました。



### ◎全県クラブグラウンド・ゴルフ交流大会

9月8日（日）、全県クラブグラウンド・ゴルフ交流大会が秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場（大仙市）で開催されました。5クラブから63名が参加いたしました。



### ◎連絡協議会、今後の主な予定

- 10月11日（金） 県南地区クラブ交流会（美郷町宿泊交流館「ワクアス/美郷町」）  
主管クラブ：美郷町総合型スポーツクラブ
- 10月26日（土） 全県クラブ8人制バレーボール交流大会（琴丘総合体育館/三種町）  
主管クラブ：琴丘地域スポーツクラブ連盟
- 10月28日（月） 県央地区クラブ交流会（CNAアリーナ★あきた/秋田市）  
主管クラブ：グリーンスポーツ倶楽部
- 11月23日（土） 東北ブロッククラブネットワークアクション2019  
～24日（日） [開催地] 宮城県仙台市 / 会場：TKPガーデンシティ仙台





## アスリート職業斡旋事業・採用実績(平成30年度)

～秋田県のアスリート競技活動サポート事業で5人のトップアスリートが採用されました～

**岡本 乃絵** (おかもと のえ) ■アルペンスキー 《2018.7.18 入社》



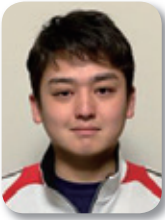
- ◆所属先 / 有限会社 鶴の湯温泉 (秋田県仙北市田沢湖)
- 1992 年生まれ 北海道富良野市出身 東海大学札幌卒
- ◆主な競技成績
- 2019/ 全日本選手権【回転・4位】
- 2019/ 全日本選手権【大回転・7位】
- 2019/Far East Cup (韓国大会)【大回転・3位】

**安部 慶輝** (あべ よしき) ■フェンシング・フルーレ 《2019.4.1 入社》



- ◆所属先 / 医療法人 久盛会 秋田緑ヶ丘病院 (秋田県秋田市)
- 1996 年生まれ 秋田県秋田市出身 拓殖大学卒
- ◆主な競技成績
- 2019/ ユニバシアード (ナポリ)【個人・6位】
- 2019/ ユニバシアード (ナポリ)【団体・5位】
- 2018/ 福井国体【成年男子フルーレ・優勝】

**高橋 駿平** (たかはし しゅんぺい) ■ライフル射撃・エアピストル 《2019.4.1 入社》



- ◆所属先 / ヨコウン株式会社 (秋田県横手市)
- 1996 年生まれ 秋田県秋田市出身 東洋大学卒
- ◆主な競技成績
- 2019/ 東北ライフル射撃選手権大会【エアピストル 60 発・2位】
- 2019/ 東日本ライフル射撃選手権大会【エアピストル 60 発・2位】
- 2017/ 第 64 回全日本学生スポーツ射撃大会【エアピストル 60 発・3位】

**土橋 奏珠** (どばし かなみ) ■レスリング 《2019.4.1 入社》



- ◆所属先 / 小玉醸造株式会社 (秋田県湯上市飯田川)
- 1996 年生まれ 秋田県南秋田郡八郎潟町出身 至学館大学卒
- ◆主な競技成績
- 2018/ 全日本学生選手権【女子 75kg級・3位】
- 2017/ 全日本学生選手権【女子 75kg級・2位】
- 2016/ 全日本選手権【女子 75kg級・3位】

**松橋 亜希** (まつはし あき) ■スキージャンプ 《2019.1.15 入社》



- ◆所属先 / 株式会社ドリームリンク (秋田県秋田市)
- 1992 生まれ 秋田県鹿角市出身 東海大学札幌卒
- ◆主な競技成績
- 2018/ 第 30 回 UHB 杯ジャンプ大会【5位】
- 2017/ 宮様スキー大会国際競技会【7位】
- 2015/ ユニバシアード【個人 6 位、女子団体 2 位、混合団体 3 位】

◎お問い合わせは.....

— 公益財団法人 秋田県体育協会 —

秋田トップアスリート無料職業紹介所 (厚生労働大臣許可番号 05-ム-300018)

担当者 就職推進アドバイザー 佐々木 功

所在地 〒010-0974 秋田市八橋運動公園 1 番 5 号 スポーツ科学センター 2 F

電話 018-864-8094 / FAX 018-864-5752

E-mail [akitaikyo0711@yahoo.co.jp](mailto:akitaikyo0711@yahoo.co.jp)

HP <http://www.akitaikyo.or.jp/job/>

秋田アスリート就職支援!

検索



## 県内スポーツの主なできごと

### 4月

- 7日 バドミントン大阪インターナショナルチャレンジで川上紗恵奈（北都銀行）が優勝
- 14日 バドミントンのシンガポールOPで永原和可那・松本麻佑組（北都銀行）が初優勝
- 11日 アルペンスキー世界大会「ウィスラーカップ2019」で鎌田宇朗（角館中2年）がU14男子回転で準優勝
- 19日 県高等学校体育連盟評議員・理事合同会議  
県特別支援学校体育連盟評議員・理事合同会議
- 21日 今季カヌースラローム日本代表に佐々木将汰（万六建設）、佐藤彩乃（秋田病理組織細胞診研究センター）が選出
- 22日 県体協加盟団体事務局長会議を開催
- 26日 県スポーツ少年団委員総会を開催
- 28日 バドミントン・アジア選手権で永原和可那・松本麻佑組（北都銀行）が準優勝
- 30日 永原和可那・松本麻佑組（北都銀行）がバドミントン世界ランキングで初の1位

### 5月

- 8日 世界カヌースプリントに小野祐佳（秋田県体協）が選出
- 28日 「チャレンジデー2019あきた決起集会」
- 29日 「チャレンジデー2019」に全25市町村で69万人が参加

### 6月

- 6日 県体協定例理事会を開催
- 17日 北都銀行バドミントン部の女子選手、監督らが文部科学省のスポーツ功労者顕彰を受章
- 29日 県競技力向上連絡協議会  
第16期県中学生強化選手の指定証交付式を開催（14競技65人を新たに指定）
- 25日 県体協定時評議員会、臨時理事会、受賞者祝賀会を開催

### 7月

- 19日 三浦昌悟（秋田工出身）がラグビーPNC日本代表入り

### 8月

- 4日 バドミントンのタイOPで米元小春・田中志穂組（北都銀行）が優勝
- 25日 バドミントン世界選手権で永原和可那・松本麻佑組（北都銀行）が2連覇を達成
- 30日 日本スポーツ協会が2022年国体冬季スキー競技の花輪スキー場での開催を県と鹿角市に要請
- 31日 中学生強化選手競技力向上研修Ⅰ（～1日）を開催

### 9月

- 2日 工藤里菜（八郎潟中出身）が女子野球アジアカップメンバーに選出
- 4日 県体協定例理事会を開催  
国民体育大会秋田県選手団結団式、役員・監督合同会議、ドーピング防止講習会を開催
- 6日 佐藤美弥（聖壺高出身）がバレーボール女子日本代表に選出



## ゴルフコンペを開催し、 オリンピック・パラリンピック候補選手に支援します

6月23日（土）県体協主催「東京オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金ゴルフコンペ」を、ノースハンプトンゴルフ倶楽部にて開催しました。平成24年度から通算9回目の今回は、39名の方にご参加いただき、総額107千円の寄付金を頂戴しました。開催にあたり、多数の企業等からコンペ賞品として協賛品をご提供いただほか、ロイヤルセンチュリーゴルフ倶楽部からは様々なご配慮をいただきました。

寄付金は、東京オリンピック・パラリンピック候補選手支援に活用させていただきます。

参加者の皆様、協賛各社はじめご支援くださった皆様に感謝申し上げます。

### [協賛企業]

秋田いすゞ自動車株

秋田テレビ株

㈲佐藤養助商店

株秋田魁新報社

秋田ノーザンハピネッツ株

株しもむら

秋田ゼロックス株

株秋田放送



## 秋田ノーザンハピネッツ株式会社の寄付金を 活用した助成事業を行っています。

6月28日（金）秋田ノーザンハピネッツ株式会社から、本県のバスケットボール競技の振興等に役立ててほしいと100万円の寄付がありました。

県体協では、「バスケットボール競技普及等助成事業」として、県内の小・中・高等学校等の児童生徒を対象とした事業に助成します。

同社からの寄付は、6年連続となりました。チームのファンクラブ「クラブハピネッツ」の年会費の一部が充てられています。

ご寄付ありがとうございました。チームの躍進と発展を祈念しています。





## 令和元年度(公財)秋田県体育協会 賛助会員

～ご協力ありがとうございます～

県体育協会の賛助会員として、事業推進にご協力をいただいております皆様のご芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 【法人会員】

秋田いすゞ自動車株式会社	株式会社エフエム秋田	辻不動産株式会社
秋田運送株式会社	奥羽電気設備株式会社	東亜道路工業株式会社秋田営業所
株式会社秋田温泉さとみ	奥山ボーリング株式会社	東北環境管理株式会社
秋田空港ターミナルビル株式会社	医療法人回生会秋田回生会病院	株式会社東北ビルカンリ・システムズ
株式会社秋田ケーブルテレビ	株式会社鹿角パークホテル	中田建設株式会社
一般社団法人秋田県建設業協会	株式会社ミチノク	ニプロ株式会社大館工場
一般社団法人秋田県サッカー協会	医療法人久幸会	日本精機株式会社
一般社団法人秋田県歯科医師会	株式会社光風舎	日本電機興業株式会社
秋田県信用保証協会	株式会社光輪技研	ネットトヨタ秋田株式会社
秋田県ソフトボール協会	コクヨ東北販売株式会社	株式会社八郎瀧印刷
秋田県バドミントン協会	コマツ秋田株式会社	船川臨港運送株式会社
公益財団法人秋田県バス協会	有限会社佐々木製作所	文化シャッター秋田販売株式会社
秋田県武術太極拳連盟	有限会社佐藤養助商店	堀江建材株式会社
一般社団法人秋田県薬剤師会	株式会社サノ・ファーマシー	株式会社本間
秋田魁会	猿田興業株式会社	株式会社丸臣高久建設
秋田指月株式会社	白神森林組合	名鉄観光サービス株式会社秋田支店
秋田白玉工業株式会社	社会医療法人青嵐会	社会医療法人明和会
秋田信用金庫	全国農業協同組合連合会秋田県本部	株式会社ユアテック秋田支社
秋田ステーションビル株式会社	創和技術株式会社	株式会社友愛ビルサービス
秋田テレビ株式会社	株式会社大同観光	有限会社雄駿
秋田ホーチキ株式会社	大堂電機自動車工業株式会社	由利工業株式会社
株式会社アテック	ガイドードリンコ株式会社	ヨコウン株式会社
有限会社アリエル	太平山観光開発株式会社	臨海碎石株式会社
伊藤建設工業株式会社	タプロス株式会社	株式会社ルーラル大瀧
羽後電設工業株式会社	千代田興業株式会社	

### 【個人会員】

秋元昌貴	佐藤卯兵衛	福原幸成
安藤進	佐藤重満	茂木秀悦
伊藤彊	佐藤有一	米塚善之助
上野満	杉江宗祐	若狭良博
尾形隆	田原隆雄	渡部聡
加藤時子	中村六郎	渡邊剛
金子良雄	奈良正人	渡辺正典
熊谷金次郎	西村悦子	
佐々木岩男	半田祐毅	

※五十音順(敬称略)



## 秋田県体育協会へのご寄付のお願い

本県スポーツの振興と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を展開する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。

公益財団法人への寄付は、教育又は科学の振興など公益の増進に著しく寄与できるものとして、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）などの特例対象となります。

スポーツ立県を支え、実現していくために、多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

寄付申込みをいただいた法人・団体、個人を御紹介します。（敬称は略させていただきます。）

### 【法人・団体】

株式会社アイネックス	有限会社金子建設工業	中田建設株式会社
秋田いすゞ自動車株式会社	株式会社北日本ベストサポート	長谷川体育施設株式会社秋田営業所
秋田活版印刷株式会社	特定医療法人敬徳会藤原記念病院	花岡土建株式会社
秋田共立株式会社	株式会社光風舎	日本建設機械レンタル協会秋田支部
株式会社秋田銀行	コマツ秋田株式会社	株式会社フジモト
株式会社秋田グランドリース	株式会社さきがけプラスA	株式会社ベストモータース
秋田県剣道連盟	株式会社サキガケ・アド・ブレーション	ベストトラベル大曲
秋田県厚生農業協同組合連合会	株式会社さきがけ折込センター	堀江建材株式会社
秋田自動車販売店協会	株式会社サノ・ホールディングス	有限会社前田商店
株式会社秋田国際カード	有限会社三協商事	有限会社松村鉄工
株式会社秋田魁新報印刷	株式会社サンコーホーム	有限会社丸ノ内サービス
秋田車体株式会社	株式会社秋田ジェーシービーカード	みちのくコカ・コーラボリング株式会社秋田営業部
秋田信用金庫	医療法人社団柔心会	むつみ建設株式会社
秋田県信用組合	株式会社菅与組	有限会社村田弘建築設計事務所
秋田ゼロックス株式会社	医療法人正和会	医療法人祐愛会加藤病院
株式会社秋田樺台ゴルフクラブ	株式会社セコー	ユーアイ警備保障株式会社
株式会社秋田デンカ	全国共済農業協同組合連合会秋田県本部	ユナイテッド計画株式会社
株式会社秋田放送	辻兵商事株式会社	ロイヤルモーター株式会社
秋田瀝青建設株式会社	株式会社テーエムシー	鹿前運輸株式会社
株式会社アテック	東京美装興業株式会社鹿角事業所	
株式会社カガ三	DOWAホールディングス株式会社	

### 【個人】

殿 村 碩太郎

松 本 奈 緒

山 内 輝 誠

※五十音順（敬称略）

9月11日受付まで



# 県体協事務局だより

## 会議録(抄)

### 3月27日 臨時評議員会

- ・令和元年度事業計画(案)について
- ・令和元年度収支予算(案)について

### 4月22日 加盟団体事務局長会議

- ・令和元年度事業計画、主要行事予定について
- ・加盟団体の提出書類等について
- ・スポーツ安全保険について
- ・2019県民体育大会について
- ・チームAKITA1,000点プランについて
- ・アスリートの就職支援について
- ・令和元年度スポーツ指導者養成講習会等について
- ・スポーツ賞の推薦について
- ・「チャレンジデー2019」について
- ・第28回日・韓・中ジュニア交流競技会秋田大会について
- ・「スポーツ推進方策2018」について

### 4月25日 オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金支援対象者選定委員会

- ・交付金額の決定について

### 5月24日 第1回強化委員会

- ・第46回東北総合体育大会、第74回国民体育大会について
- ・秋田県高等学校強化拠点校監督会議について
- ・ターゲット競技調査・分析事業について
- ・第1回競技団体ヒアリングについて

### 5月31日 第1回次期理事候補者選出委員会

### 6月6日 第1回審査委員会

- ・公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰候補の推薦について

### 6月6日 第1回定例理事会

- ・平成30年度事業報告及び決算報告(案)について
- ・定時評議員会の招集について

### 6月10日 第1回評議員選定委員会

### 6月17日 役員等推薦委員会

### 6月25日 定時評議員会

- ・平成30年度事業報告及び決算報告(案)について
- ・理事、監事の選任について

### 6月25日 第1回臨時理事会

- ・代表理事及び業務執行理事の選任について
- ・業務執行理事の分掌について
- ・評議員選定委員会の委員の選任について

### 7月18日 第1回スポーツ医・科学委員会

- ・令和元年度事業計画及び活動計画について
- ・国民体育大会帯同ドクター派遣計画について
- ・アンチ・ドーピング活動の取り組みについて
- ・女性アスリートサポートにむけたスポーツ医・科学委員の推薦について
- ・国体におけるJSPO-AT帯同義務化に向けたスケジュールについて

### 7月23日 第2回強化委員会

- ・チームAKITA1,000点プランの進捗について
- ・第46回東北総体前競技団体激励について
- ・今年度の各種大会への本部役員派遣予定について
- ・令和2年度テクニカルアドバイザーの採用について

### 9月4日 第2回定例理事会

- ・第74回国民体育大会秋田県選手団本部役員(案)について
- ・相談役の推挙について
- ・役員等推薦委員会委員の選任(案)について
- ・特別寄付金の受領について

## 令和元年度(公財)秋田県体育協会職員紹介

### ■常勤理事

専務理事 齊藤 譲

### ■事務局

事務局長 飯坂 尚登

### ■総務課

TEL 018-864-8090

課長代理 山内 輝誠  
 職員 森田 佳子  
 職員 大庭美保子  
 職員 佐藤 隆子

### ■スポーツ少年団室

TEL 018-866-3916

(兼)室長 飯坂 尚登  
 職員 富樫 恵子  
 職員 二階堂直子

### ■事業課

・競技スポーツ担当  
 TEL 018-864-8091

課長代理 齋藤 伸行  
 強化専門員 杉淵 茂利  
 強化専門員 安田 竜  
 強化専門員 山崎 光  
 強化専門員 小野 祐佳  
 職員 富田由紀子

・生涯スポーツ担当  
 TEL 018-864-8094

課長 久米 克弥  
 職員 清沢 広行  
 職員 斎藤 篤子  
 職員 中川トシ子

### ■アスリート就職推進アドバイザー

佐々木 功

### ■ジュニア育成アドバイザー

大貫 葉子  
 伊藤 丈英

### ■テクニカルアドバイザー

安保 建吾 (陸上競技)  
 須貝 未里 (スキー)  
 佐藤 太一 (スキー)  
 三浦 隆司 (ボクシング)  
 七尾 真結 (新体操)  
 小野 秀二 (バスケットボール)  
 成田 竜也 (レスリング)  
 腰山 洸汰 (ウエイトリフティング)  
 加納 明帆 (ハンドボール)  
 吉田 花道 (フェンシング)  
 花岡 伸明 (ラグビーフットボール)



## 訃報

永年にわたり、本県スポーツの発展、振興に寄与されましたご功績を称え、  
 謹んでご冥福をお祈りいたします。

柴田 康二郎 氏 元本会副会長 令和元年6月14日 御逝去

### 編集後記

本誌は、「いきいき茨城ゆめ国体」主催期前の編集を経ての発行となりますので、国体における本県選手団の活躍の様子については、次号で掲載させていただきます。本誌の発行にあたり、ご多用中の折、取材や原稿執筆などにご協力くださいました皆様、写真を提供してくださいました秋田魁新報社様、ご協力ありがとうございました。(飯坂事務局長)



輝きを 汗に 瞳に このまちに  
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 … に

アリーナ 宿 泊 室  
トレーニングルーム スト ラ ン  
温水 プール 温 泉 浴 場  
研修 ミーティングルーム (サウナ有)



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1  
JR能代駅から車で10分  
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322  
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>

駄菓子・ワジ・縁日グッズ  
お菓子の袋詰

問屋

しもむら

駄菓子のしもむら 検索

☎018-832-6766



資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 洸士

秋田県大館市中道三丁目1番50号  
TEL 0186-49-0280  
FAX 0186-43-0002

株式会社松 田

地域の発展とともに  
株式会社湯沢生コン  
松田グループ 株式会社丸栄建設



株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

事業内容  
会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・  
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

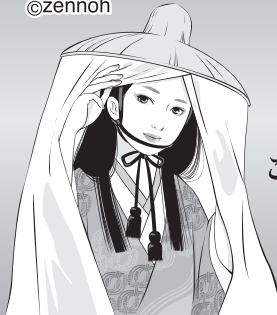
税理士法人  
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一  
税理士 横 山 富 夫  
税理士 菅 谷 浩 浩

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022  
横山会計 / 秋田市川尻若葉町4番37号 Tel.018-862-6388  
菅谷会計 / 秋田市土崎港東二丁目16番24号 Tel.018-845-5648

皆様に愛され続けて

©zenoh



この秋、あきたこまちは  
35周年を迎えました  
美人を育む秋田米

JAグループ秋田・JA全農あきた



想  
像  
創  
造  
の  
場

あらゆるニーズにお応えする

松原印刷社

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29  
TEL 018-862-8760  
FAX 018-863-0005  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>





仲間と一緒に  
楽しく

小さな掛金、大きな補償

# スポーツ安全保険<sup>®</sup>

  
4名以上の団体・グループで  
ご加入ください。

 傷害保険

 賠償責任保険

 突然死葬祭費用保険

対象となる事故

団体・グループでの活動中の事故／往復中の事故

保険期間

2019年4月1日午前0時から2020年3月31日午後12時まで（申込受付は2019年3月から）

掛金

掛金（1人年額800円～1,850円）は、活動内容・年齢によってご選択いただく加入区分ごとに異なります。ただし、危険度の高いスポーツを補償するD区分は11,000円

補償内容

補償内容は、加入区分によって異なります。詳しくは、ホームページなどをご覧ください。  
（例）A1・A2・C区分の方は、死亡2,000万円、後遺障害最高3,000万円

 公益財団法人 **スポーツ安全協会** 秋田県支部

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5  
秋田県スポーツ科学センター内

TEL **018-883-0360** 電話受付時間 午前8時30分～午後5時（土、日、祝日を除く。）



保険の詳しい内容、資料の請求は、  
ホームページをご覧ください。

※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

検索

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社  
担当課：公務第2部 文教公務室  
TEL 03-3515-4346（平日9:00～17:00）

〈共同引受保険会社（2019年4月予定）〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災  
損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動  
日新火災 三井住友海上 AIG損保

この広告はスポーツ安全保険（スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険）、賠償責任保険（スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）付帯普通傷害保険賠償責任担保条項））の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）までお問い合わせください。

2018年12月作成 18-TC02857